



2024年3月期第1四半期 決算説明会

2023年7月26日

Infrastructure

Agriculture

Healthcare

株式会社トプコン
取締役兼専務執行役員 CFO 財務本部長
秋山 治彦



株式会社トプコン

2024年3月期第1四半期 決算説明会

2023年7月26日

イベント概要

[企業名]	株式会社トプコン
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2024年3月期第1四半期 決算説明会
[決算期]	2024年3月期
[日程]	2023年7月26日
[時間]	15:30 - 16:20 (合計：50分、プレゼンテーション：25分、質疑応答：25分)
[開催方式]	オンライン開催（ライブ配信）
[登壇者]	2名 取締役 専務執行役員 財務本部長 秋山 治彦 執行役員 広報・IR室長 平山 貴昭

2024年3月期 第1四半期決算ハイライト



■ Q1実績

決算概要

増収減益

売上高 **497** 億円
前同比 +6%
営業利益 **17** 億円
前同比 ▲55%

ポジショニング事業

売上高は前年並み、
費用増を吸収出来ず減益
北米建設市場での足元の
市中在庫調整や買い控えで販売が
伸び悩み

アイケア事業

全般的に堅調
売上高・営業利益 **過去最高**
スクリーニング・基盤事業共に
好調継続

■ 通期見通し

計数見通し

期初計画から変更なし

売上高 **2,080** 億円
営業利益 **190** 億円

ポジショニング事業

事業環境

欧米のマクロ環境の先行き不透明感も、
北米のインフラ需要増、省人化・効率化
ニーズ拡大に期待

注力事項 ※
MC-Mobile 拡販
IT農業OEM 継続強化
建築DXビジネス 拡大

アイケア事業

事業環境

効率化ニーズを背景に、欧米大手眼鏡
チェーン店の**設備投資増**

注力事項

スクリーニング事業の継続拡大、
スクリーニングの強みを活かした**基盤事業**
強化



※中小型建機向けシステム ©2023 Topcon Corporation

2

2024年3月期第1四半期の決算についてご説明します。

まず今回の決算のハイライトからご説明します。第1四半期の実績については、売上高は497億円で、前年同期比6パーセント増となりました。一方、営業利益は前年同期比55パーセント減の17億円で、増収減益という結果です。

減益の要因はポジショニング事業です。売上高は前年並みだったのに対して、費用増を吸収できず、減益となりました。これは主に、北米建設市場での足元の市中在庫の調整や、景気減速懸念から代理店の買い控えが起きたことにより、販売が伸び悩んだと見ています。

一方で、アイケア事業は、売上高・営業利益とも第1四半期としては過去最高となりました。注力しているスクリーニング事業・基盤事業ともに好調を継続しました。

続いて、スライド下段の通期見通しです。第1四半期は上述のような数字でしたが、通期見通しは期初計画から変更せず、売上高2,080億円、営業利益190億円です。

ポジショニング事業は、欧米の先行きに不透明感がありますが、北米のインフラ需要が強いことと、省人化・効率化ニーズの拡大が十分に期待できます。中小型建機向けのシステム「MC-Mobile」や、建築DXビジネスの販売増も見込んでいます。

アイケア事業について、事業環境は効率化ニーズを背景に、特に欧米大手眼鏡チェーン店の設備投資が増加しています。そこで、スクリーニング事業、及びその強みを活かした基盤事業を強化していきたいと考えています。

2024年3月期第1四半期 決算説明会

1. 2024年3月期第1四半期 決算報告
2. 2024年3月期 通期見通し
3. トピックス
4. 参考資料

本日は、第1四半期の決算報告、通期見通し、トピックスの順にお話しします。

1. 2024年3月期第1四半期 決算報告

- 2024年3月期第1四半期 決算報告
- 事業別の状況

2024年3月期第1四半期の決算報告です。

FY2023 Q1実績



■ 増収減益

(単位：億円)	FY2022 Q1実績	FY2023 Q1実績	対前年同期	%
売上高	470	497	+27	+6%
売上総利益	248	264	+16	+6%
売上総利益率	52.8%	53.1%	+0.3pt	
販管費	210	247	+37	+18%
営業利益	38	17	▲21	▲55%
営業利益率	8.2%	3.5%	▲4.7pt	
経常利益	40	18	▲22	▲54%
特別損益	0	▲14 [※]	▲14	※開発費減損
四半期純利益	28	▲2	▲30	
為替換算レート (期中平均)	USD EUR	129.04円 138.24円	138.11円 150.35円	+9.07円 +12.11円



©2023 Topcon Corporation

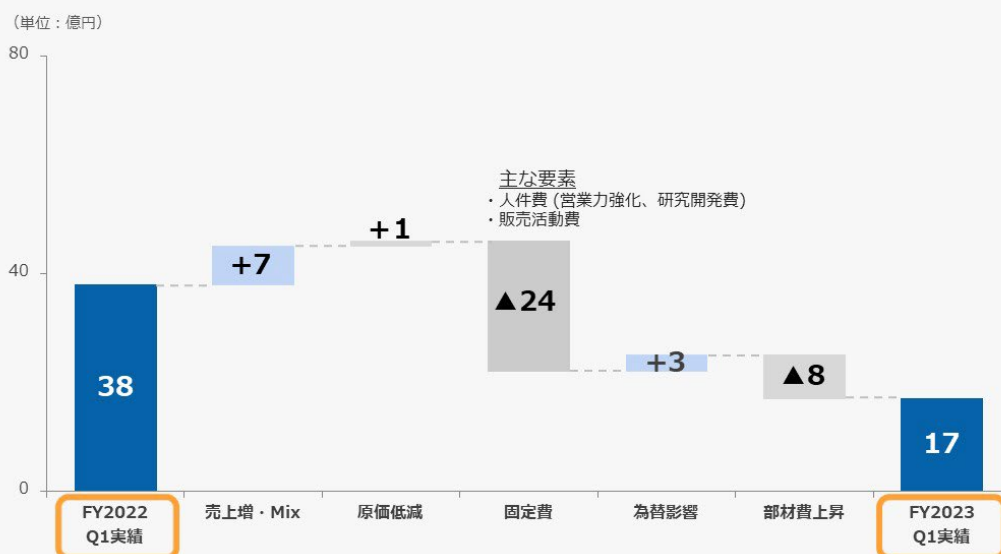
6

第1四半期の売上高は497億円で、前年同期比6パーセント増加し、27億円の増収となりました。売上総利益率は53.1パーセントと、前年とほぼ変わっていません。

一方で、販管費は247億円で、前年度から37億円増加し、前年同期比18パーセント増となりました。その結果、営業利益が前年と比べて21億円の減益となっています。

また、この第1四半期で一過性の損失が発生しています。研究開発費の減損により14億円の特別損失が発生しています。これによって、純利益は2億円のマイナスという結果となりました。

FY2023 Q1増減益分析【営業利益ベース:前年同期比】



©2023 Topcon Corporation

7

営業利益の増減益分析です。前年同期の38億円に対して、当年度17億円との差異を説明します。売上増・Mixで7億円のプラスになったものの、固定費が増えて24億円のマイナスとなったことが大きな要因です。

固定費のうち、ほとんどは営業力強化、研究開発費増強等による人件費の増加です。人材の採用や各国のインフレに伴った賃上げも、この人件費増加の要因の1つとなっています。

スライド右側に記載した部材費上昇について、部材価格上昇のピークは前年度の第3四半期でした。前年度の第1四半期はまだ部材価格が上昇過程であった為、今年度の第1四半期は昨年同期比で部材費上昇によるマイナス影響が8億円となりました。

1. 2024年3月期第1四半期 決算報告

- 2024年3月期第1四半期 決算報告
- 事業別の状況

事業別の状況をご説明します。

事業別の状況【ポジショニング事業】



■ 売上高は前年並み、費用増を吸収出来ず減益

		FY2022	FY2023	対前年同期	%
(単位：億円)		Q1実績	Q1実績		
ポジショニング事業	売上高	328	329	+1	+0%
	営業利益	45	18	▲27	▲60%
	営業利益率	13.7%	5.4%	▲8.3pt	-
為替換算レート (期中平均)	USD	129.04円	138.11円	+9.07円	
	EUR	138.24円	150.35円	+12.11円	

ポジショニング事業については、売上高は前年とほぼ同じ水準となっています。一方で、営業利益は費用の増加を吸収できず、前年度より27億円の減益となりました。

■ 業績要因分析

全般

- ✓ 北米建設市場での足元の市中在庫調整や買い控えで販売が伸び悩み
- ✓ 事業活動活発化や人員増・インフレ影響に伴う経費増

ICT施工・IT農業

- ✓ ICT施工はOEMが堅調も、アフターマーケットは市中在庫調整で販売鈍化
- ✓ IT農業はOEM、アフターマーケット共に堅調
- ✓ 国内は自動化普及進展により、ICT施工・IT農業共に堅調

測量機・レーザー機器

- ✓ 住宅建設市場鈍化により長引く在庫調整、景気不透明感から買い控え
- ✓ 国内堅調、アジアは回復傾向継続

業績要因分析です。まず、北米建設市場では、足元で市中在庫の調整が行われています。

前年度第4四半期に代理店にかなり多く購入していただきましたが、その結果、市中在庫が増加し、その調整の影響でこの第1四半期の販売は伸び悩みました。

加えて、特に米国の景気減速懸念が買い控えに影響しています。

一方経費は、先ほど説明した人員の増強やインフレ影響に伴う各種経費が増加しました。売上を計画通り計上することで増えた経費をカバーする予定でしたが、計画を達成できず減益となりました。

製品別で見ると、ICT施工についてはOEMは堅調でしたが、アフターマーケットでは市中在庫調整の影響で、特に米国で販売が減少しました。IT農業は、OEM、アフターマーケットともに堅調でした。日本国内についてはICT施工・IT農業ともに堅調に推移しました。

測量機・レーザー機器は、昨年の年度末に住宅建築市場の鈍化の兆候が表れていて、第1四半期も低迷しました。一方で、日本国内およびアジアについては堅調でした。

■ 新製品 CTL(コンパクトトラックローダー)用 MC-Mobile発売 (2023年5月)



GNSS・測量機それぞれに対応したシステムを2機種追加投入

建設現場の省人化・効率化ニーズ
に対応した戦略商品



※ 出所: Off-Highway Research



■ 製品紹介ページ [MC-Mobile - 3-in-1 for your efficiency | Topcon Positioning](#)



©2023 Topcon Corporation

11



■ 製品紹介ページ [MC-Mobile - 3-in-1 for your efficiency | Topcon Positioning](#)

ポジショニング事業のトピックスです。スライドの写真は「CTL (コンパクトトラックローダー)」という、主に北米で使われている中小型建機です。グラフのとおり、北米では「Dozer」より「CTL」が2~3倍くらい販売台数が多くなっています。

中小型建機向けシステム「MC-Mobile」の「CTL」用主カシステムを第1四半期に発売しました。北米ではすでに中小型ショベル用の「MC-Mobile」を発売しており、かなり好調に推移しています。中小型ショベル用に加えて、この「CTL」向けの新しいシステムを発売することで売上拡大を図ります。

事業別の状況【アイケア事業】



■ 売上高・営業利益は過去最高、スクリーニング・基盤事業共に好調継続

(単位：億円)		FY2022	FY2023	対前年同期	%
		Q1実績	Q1実績		
アイケア事業	売上高	141	166	+25	+18%
	営業利益	6	11	+5	+88%
	営業利益率	4.0%	6.4%	+2.4pt	-
為替換算レート (期中平均)	USD	129.04円	138.11円	+9.07円	
	EUR	138.24円	150.35円	+12.11円	

アイケア事業です。売上高は166億円で、前年同期比18パーセント増加、25億円の増収となりました。

営業利益は11億円で、前年同期比88パーセント増加し、5億円の増益となりました。売上・営業利益とも、第1四半期としては過去最高となりました。



■ 業績要因分析

全般

- ✓ 欧米を中心に、大手眼鏡チェーン店の堅調な設備投資意欲を背景に売上拡大
- ✓ 中国は復調傾向

スクリーニングビジネス

- ✓ 大手眼鏡チェーン店向けの売上は計画通り順調に進捗
- ✓ 新製品眼底カメラNW500は計画を上回る売上

検眼・診断機器

- ✓ スクリーニングビジネスの強みを活かし、欧米大手眼鏡チェーン店向け売上拡大

業績要因分析です。主に欧米を中心とした大手眼鏡チェーン店の堅調な設備投資意欲を背景に、売上が拡大しました。また、中国では、前年度の第1四半期は上海のロックダウンが始まり低迷しましたが、今年度はかなり復調しています。

注力しているスクリーニングビジネスは、引き続き大手眼鏡チェーン店向けに売上を伸ばしており、新製品の眼底カメラ「NW500」も非常に好調です。

検眼・診断機器についても、大手眼鏡チェーン店を中心に売上が拡大しました。

■ 新製品眼底カメラNW500 計画を上回る販売でスクリーニングビジネスを牽引 ※1



■ 製品紹介ページNW500 - トプコンヘルスケア (topconhealthcare.jp)



©2023 Topcon Corporation

14

好調な要因

- 小瞳孔径でも撮影可能



- 高画質な眼底画像



白内障 (瞳孔径2.0mm) 緑内障 (瞳孔径3.0mm) 糖尿病網膜症 (瞳孔径3.0mm) ※3

※1 販売名「無散瞳眼底カメラ NW500」 認証番号「304AABZX00008000」
※2 最小瞳孔径2.0mmの撮影が可能であることを、模型眼で検証済
※3 画像提供: Michael H. Chen, OD



■ 製品紹介ページ NW500 - トプコンヘルスケア (topconhealthcare.jp)

アイケア事業のトピックスです。新製品の無散瞳眼底カメラ「NW500」が非常に好評です。評判が良い理由は、「瞳孔が小さくても撮影ができる」点です。

眼鏡店など明るい店内でも、「NW500」は被検者の瞳孔径が2.0mm以上あれば鮮明な良質な画像を撮影することができることから、高い評価を得ています。

また、白内障等の疾患でも、鮮明に撮影できる事も評判がよい理由の一つです。

1. 2024年3月期第1四半期 決算報告
2. 2024年3月期 通期見通し
3. トピックス
4. 参考資料

続いて、通期の業績見通しについてご説明します。

FY2023通期見通し



■ 期初計画から変更なし

		FY2022 実績	FY2023 見通し	対前年	%
(単位：億円)					
売上高		2,156	2,080	▲76	▲4%
営業利益		195	190	▲5	▲3%
営業利益率		9.1%	9.1%		
経常利益		178	170	▲8	▲5%
純利益		118	110	▲8	▲7%
配当		42円	42円	-	-
配当性向		37%	40%	+3pt	-
為替換算レート (期中平均)	USD	134.95円	130.00円		
	EUR	141.24円	135.00円		

Q2以降前提レート



©2023 Topcon Corporation

16

期初計画から変更せず、売上高は 2,080 億円、営業利益は 190 億円、配当は 42 円と計画しています。

FY2023通期見通し【事業別】



(単位：億円)		FY2022	FY2023	対前年	%	概況
		実績	見通し			
ポジショニング事業	売上高	1,477	1,370	▲107	▲7%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北米でのインフラ需要増 ■ 省人化・効率化ニーズを捉えた実需の取り込み ■ ICT施工、IT農業、建築DX関連のビジネス継続拡大
	営業利益	205	185	▲20	▲10%	
	営業利益率	13.9%	13.5%	▲0.4pt		
アイケア事業	売上高	669	700	+31	+5%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 効率化ニーズを背景に、欧米大手眼鏡チェーン店の堅調な設備投資が継続 ■ スクリーニング事業は先行投資回収フェーズ継続 ■ スクリーニングの強みを活かした基盤事業強化
	営業利益	40	50	+10	+26%	
	営業利益率	5.9%	7.1%	+1.2pt		
為替換算レート (期中平均)	USD	134.95円	130.00円			
	EUR	141.24円	135.00円			

Q2以降前提レート

©2023 Topcon Corporation 17

事業別の通期見通しです。ポジショニング事業では、売上高は前年比 107 億円減、7 パーセント減収の 1,370 億円、営業利益も前年比 20 億円減、10 パーセント減益の 185 億円という期初の通期見通しから変更しません。

第 1 四半期は低調でしたが、住宅関係の低迷は期初の見通しに織り込んでいました。但し、市中在庫の増加や、それによる景気減速懸念による買い控えの影響は想定外でした。

スライド右側の概況に記載のとおり、北米でのインフラ需要はかなり強いと考えていますので、この見通しを達成したいと思っています。

一方、アイケア事業は、売上高は前年比 5 パーセント増、営業利益は前年比 26 パーセント増の増収増益の見通しを立てています。こちらについては、第 1 四半期で、概ねこの見通しに沿った実績を出すことができましたので、この期初の見通し達成に向けて特に欧米大手眼鏡チェーン店向けの拡販に努めていきたいと考えています。

1. 2024年3月期第1四半期 決算報告
2. 2024年3月期 通期見通し
3. **トピックス**
4. 参考資料

最後に、トピックスを2つご説明します。

トピックス



■ 4年連続DX銘柄に選定、グランプリに初選出

※DX銘柄：経済産業省、東京証券取引所及び IPAがDXに積極的に取り組む企業を1年に1回選定。特に優秀な企業はグランプリに選出(今年度2社)。

「医・食・住」に関する社会的課題を解決するDXソリューションが高評価



■ ニュースリリース [4年連続 デジタルトランスフォーメーション銘柄に選定、グランプリに初選出! - TOPCON](#)



DXグランプリ2023
Digital Transformation



表彰式でのプレゼンテーション



■ ホームページ [トプコンのデジタルトランスフォーメーション \(DX\) - TOPCON](#)

受賞理由

- 建設、農業、眼科医療分野において、DXを業態変革の推進力に据え、作業の効率化・省人化を実現
- それぞれの業界での課題に対し、高い技術力とサービスを複合させたソリューションを提供



© 2023 Topcon Corporation

19



■ ニュースリリース [4年連続 デジタルトランスフォーメーション銘柄に選定、グランプリに初選出! - TOPCON](#)



■ ホームページ [トプコンのデジタルトランスフォーメーション \(DX\) - TOPCON](#)

1つ目は、経済産業省および東京証券取引所が1年に1回選定している「DX銘柄」に、当社は4年連続で選定され、今年度はグランプリに初選出されました。

「医・食・住」に関する社会的課題を解決するDXソリューションを高く評価していただきました。

■ 令和5年度全国発明表彰において 杭ナビが「WIPO賞」を受賞



■ ニュースリリース [令和5年度全国発明表彰において 杭ナビが「WIPO賞」を受賞 - TOPCON](#)



当社Layout Navigator「杭ナビ」



表彰式



施工現場での使用事例

WIPO賞とは

日本の科学技術振興、産業経済発展に寄与した優れた発明等に贈られる全国発明表彰(1919年～)の特別賞の一つ。知的財産を活用し、イノベーションと創造性により社会貢献を果たしている優れた意匠を称える賞として今年新設、当社は受賞第1号

受賞理由

- 「誰でも簡単に、1人で素早く位置出し作業が可能なツール」として、シンプル操作、目つきみやすいデザイン
- ICT施工導入のハードルを下げ、DX促進を通じ、世界中の建設現場の生産性・品質向上に貢献



■ ニュースリリース 令和5年度全国発明表彰において 杭ナビが「WIPO賞」を受賞 - TOPCON

2つ目は、100年以上の歴史を持つ全国発明表彰における受賞についてです。今年から、知的財産権に関する国連の専門機関 WIPO から贈られる賞が新設され、当社はその「WIPO賞」を第1号として受賞することができました。

対象となったのは、スライドの写真にある「Layout Navigator」で、日本では「杭ナビ」と称している製品です。誰でも簡単に1人で素早く位置出し作業ができるという他社にない非常にユニークな製品であり、知的財産という部分を非常に高く評価していただき、受賞することができました。

以上が、第1四半期の決算説明です。ありがとうございました。

質疑応答サマリー

<全社共通事項>

Q. Q1の結果を受けて今年度通期の増減益要因について変更はあるか？

A. 大きな変更はありません。期初にお話した水準と比べると、為替が若干プラス、固定費が若干マイナスに振れる可能性があります。

Q. 粗利率は安定していると思うが、販管費が重くなっている印象。Q2以降、経費管理を強化していく考えか？

A. 業容拡大に合わせ計画通り人材増強を図っていましたが、一部の地域では採用凍結や販管費削減に着手し始めており、Q2以降も継続していきます。

Q. 在庫増加の要因は？ Q2の生産計画に影響は出るのか？

A. 市中在庫調整による売上減は想定外の事象で、当社在庫増の要因です。メーカーとして生産は極力平準化していく方針ですが、在庫水準と販売状況を見ながらQ2は生産を一部調整する可能性があります。

Q. Q1に未実現による損失は発生しているのか？

A. 在庫増に加え、3月末から6月末にかけて急速に円安が進んだ為、未実現損失が発生しています。

Q. 特別損失の要因となった開発費減損の内容を教えてください。

A. ロシア・ウクライナ問題の収束が見えない状況を鑑み、モスクワの開発センターで行っていた開発を一部取り止めて開発場所を移行しました。その結果、資産計上していた開発費の一部を償却し減損損失が発生しました。

<ポジショニング・ビジネス>

Q. Q1の収益は想定よりどの程度下振れしたのか？

A. 売上で30~40億円程度、営業利益で20億円前後の下振れとなりました。

Q. 市中在庫調整の影響はいつ頃から顕在化したのか、また、Q2以降も続くのか？

A. 5月頃から影響が見え始めました。市中在庫の水準はある程度減ってきていると見ており、Q2以降では市中在庫に伴う影響は少ないと推測しています。

Q. 住宅建設関連は期初から弱い想定とされていたが、それ以外の分野では最終需要は減退していない、という理解で良いか？

A. 住宅建設市場は概ね想定通りで、住宅建設以外も在庫調整の影響で販売が低調でした。インフラ建設はプロジェクト案件が増加しており、最終需要は弱くはありません。

<アイケア事業>

Q. アイケアは計画より良かったと考えていいのか？

A. 概ね計画通りです。

Q. 大株主が変更になっているが、アイケア事業の重要性について御社はどのように考えているか？

A. 先行投資やコロナ影響で業績は一時的に低迷していましたが、足元では収益性が改善しています。様々な成長テーマもあり、当社にとって重要な成長事業という位置づけは変わっていません。

1. 2024年3月期第1四半期 決算報告
2. 2024年3月期 通期見通し
3. トピックス
4. 参考資料

業績推移



■ 全社

四半期別



年度別



業績推移



■ ポジショニング事業

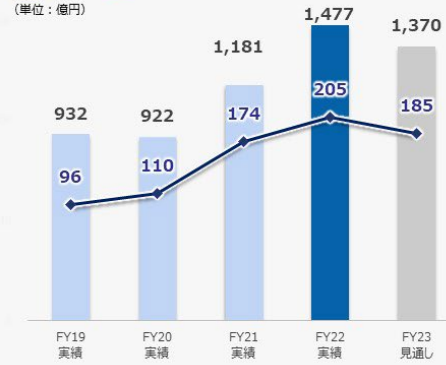
四半期別

■ 売上高 ■ 営業利益
(単位：億円)



年度別

■ 売上高 ■ 営業利益
(単位：億円)



業績推移



■ アイケア事業

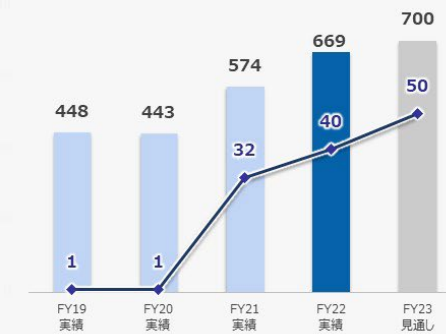
四半期別

■ 売上高 ■ 営業利益
(単位：億円)

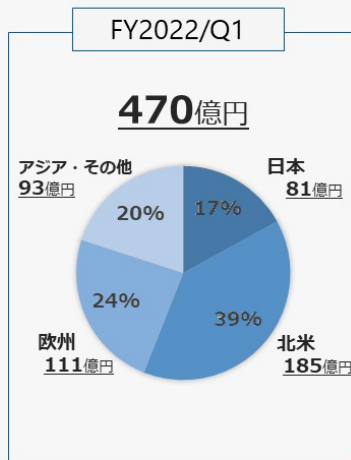


年度別

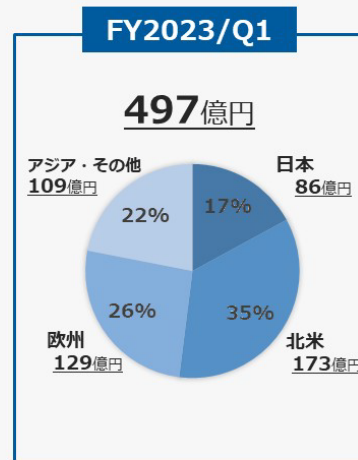
■ 売上高 ■ 営業利益
(単位：億円)



地域別売上高【全社】



前年同期比
+6%



地域別売上高【事業別】



設備投資および研究開発費 / 為替感応度



投資額・費用見通し



為替感応度 (1円の変動による影響額)

	営業利益
USD	1.5~2億円
EUR	0.7~1億円



Topcon for *Human Life*

